

令和6年度学校運営連絡協議会実施報告

1 組織

(1) 組織の名称

「令和6年度 都立小石川中等教育学校 21開拓委員会」(全日制課程)

(2) 事務局の構成

事務局長(副校長)、事務局担当(副校長マネジメント支援員、広報部1名) 計3名

(3) 内部委員の構成

校長
副校長2名
経営企画室長
教務主任
生活指導主任
進路指導主任
国際部主任
SSH部主任 計9名

(4) 協議委員の構成(*評価委員を兼任)

明治大学教授 勝悦子氏*
日本科学未来館 松岡均氏*
株式会社島津理化 梅田篤史氏*
文京区立駕籠町小学校長 矢部明美氏
文京区立昭和小学校長 松本竜太郎氏
巣鴨大鳥神社商店街会長 中村安次氏
大和郷会長 伊東久信氏
小石川中等教育学校PTA会長 村上雅彦氏*
小石川中等教育学校PTA副会長 遠藤恵美氏 計9名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和6年6月14日(金) 協議委員7名、内部委員9名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、各分掌からの学校の現況報告
本校の現状と課題等説明、意見交換
第2回 令和6年10月18日(金) 協議委員7名、内部委員9名
令和5年度学校経営計画進捗状況中間報告(1学期分)
学校評価アンケートの趣旨説明、21開拓評価委員会の報告
協議:各分掌からの中間報告、本校の現状と課題について意見交換
第3回 令和7年2月14日(金) 協議委員8名、内部委員8名
学校教育診断アンケート集計結果報告及び学校経営に対する提言、
令和6年度学校経営計画進捗状況中間報告(2学期分)
協議:各分掌からの中間報告、評価結果についての協議及び学校経営に対する提言

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和6年6月14日(金) 評価委員4名、内部委員1名、事務局1名
学校運営連絡協議会設置要綱、令和4年度学校運営連絡協議会実施報告
今年度の学校評価の内容・項目の確認、協議会での提言について
第2回 令和6年10月18日(金) 評価委員3名、内部委員1名、事務局1名
学校評価アンケートの確認、本校と家庭・地域との連携への助言
第3回 令和7年2月14日(金) 評価委員4名、内部委員1名、事務局1名
学校教育診断アンケート集計結果の分析、学校経営に対する提言の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

ア 中等教育学校の完成年度である平成 23 年度から現在の形式で、生徒・保護者・教員及び地域を対象にアンケートを実施している。

イ 令和 6 年度は下記の項目を削除し、1 項目の表現を変更し、新規に 2 項目を追加した。

削除した項目：今後（回答 2）全項目

削除した理由：回答しづらいので、新規項目として回答する形式を変更した。

表現を変更した項目：Q13 「学校は、生徒がいろいろな機会を通じて積極的に地域や社会にかかわる機会を提供していると思う」を「私は、積極的に地域や社会にかかわりたいと思う。」に変更。

表現を変更した理由：生徒の意識を把握するため。

追加した項目 1：(5) Q1 から Q14 の各質問内容について、今後本校が力を入れてほしい項目は何ですか。（複数選択可）

追加した理由：削除した項目「今後（回答 2）」の代替として追加した。

追加した項目 2：(6) 私は、学校生活と学校以外での生活（塾や家庭での生活を含む）とのバランスがとれていると思いますか。

追加した理由：教員に行っている質問「(4) あなたは、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底することにより、ライフワークバランスの実現を図っていますか。」に対応する形で、忙しい日々を過ごしている本校生徒に対して、学校生活と学校以外での生活のバランスに対する意識を把握するため追加した。

ウ 令和 6 年度の地域対象のアンケートは、本校を会場に実施した東京大学との協賛の「サイエンス・テクノロジーフェスタ」で参加した保護者や小学生を対象に行った実施した。また、地域と連携した職場体験、東京寺子屋に参加した方を対象に実施した。地域の商店向けのアンケートは、職場体験と重複するので外した。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・回収率

ア	10 月～12 月	全校生徒	回収率 97.9%
イ	10 月～12 月	保護者全員	回収率 97.1%
ウ	12 月	教職員	回収率 100%
エ	6 月～11 月	地域	回収率 47.6%

(3) 主な評価項目

ア 保護者・教職員・生徒向け質問項目

〔参考：生徒用〕

Q1 本校は、小石川教養主義のもと、幅広くかつ深い内容を学べる学校であると思う。

Q2 本校は、理数教育に力を入れていると思う。

Q3 本校は、国際理解教育に力を入れていると思う。

Q4 本校では、小石川フィロソフィーの授業を通して課題研究のスキルが身につくと思う。

Q5 本校では、学校行事等を通じて私たちの主体性、協調性、創造性を伸ばすことができると思う。

Q6 本校は、体罰や暴言を防止するための取組が行われていると思う。

Q7 本校は、いじめを防止するための取組が行われていると思う。

Q8 私は、本校での教育を通じて他者を尊重する考え方を学んでいる。

Q9 私は、あいさつや時間を守ることなど、社会的なルールやマナーが身についていると思う。

Q10 私は、熱心に授業に取り組んでいる。

Q11 私は、本校での教育が将来の自分を実現するために役立っていると思う。

Q12 学校は、生徒の悩みの相談する場や悩みを相談する機会があると思う。

Q13 私は、積極的に地域や社会にかかわりたいと思う。

Q14 私は、充実した学校生活を送っている。

(5) Q1 から Q14 の各質問内容について、今後本校が力を入れてほしい項目は何ですか。(複数選択可)

(6) 私は、学校生活と学校以外での生活(塾や家庭での生活を含む)とのバランスがとれていると思いますか。

イ 教職員向け質問項目

(3) あなたは、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底することにより、ライフワークバランスの実現を図っていますか。

ウ 地域向け質問項目

Q1 回答者の年代 20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上

Q2 本校の教育活動に関わったことがありますか。

職場体験・東京寺子屋・地域の行事・地域のボランティア活動・サイエンス・テクノロジーフェスタに参加
・その他・関わっていない

Q3 本校の教員の対応はいかがでしたか。(5 択)

Q4 本校の生徒の対応はいかがでしたか。(5 択)

Q5 今後、小石川中等教育学校の生徒に積極的に地域とかかわる行事や活動を行ってもらいたいと思いますか。
(4 択)

Q6 本校について気が付いた点や良い点、今後交流できる活動がありましたらお書きください。

(4) 評価結果の概要

ア 肯定的な意見の割合の比較

肯定的な意見の割合(令和6年度)

	生徒	1+2	保護者	1+2	教員	1+2
100%						
・ 小石川教養主義	98.2				小石川教養主義	98.4
・ 国際理解教育	98.1				理数教育	98.4
・ 充実した学校生活	97.9				充実した学校生活	98.4
理数教育	97.7				課題研究のスキル	98.4
行事を通じて主体性・協調性・創造性	97.6		行事を通じて主体性・協調性・創造性	95.6	将来への効果	98.4
			地域・社会への貢献	95.5	国際理解教育	96.8
			小石川教養主義	95.2	行事を通じて主体性・協調性・創造性	96.8
将来への効果	94.2		理数教育	94.5		
課題研究のスキル	93.9		国際理解教育	94.5		
他者を尊重する考え方	93.0		充実した学校生活	93.4	地域・社会への貢献	93.5
					授業への取り組み	93.5
90%						
授業への取り組み	90.2				体罰・暴言の防止	91.9
相談の機会	88.9		将来への効果	89.9	いじめ防止	90.3
・ ルール・マナーが身につく	88.2		課題研究のスキル	89.7	相談の機会	88.7
・			他者を尊重する考え方	85.6	他者を尊重する考え方	87.1
・			授業への取り組み	84.0		
80%						
体罰・暴言の防止	83.8					
いじめ防止	83.2		相談の機会	82.0		
・			ルール・マナーが身につく	80.6		
・						
70%						
60%			体罰・暴言の防止	67.5		
			いじめ防止	64.8	ルール・マナーが身につく	67.7

※地域・社会への貢献については、今年度は質問項目の表現を変更しています

回答の選択項目
1 あてはまる
2 どちらかというとあてはまる
3 あまりあてはまらない
4 あてはまらない

【昨年度との比較】

・保護者の地域・社会への貢献度は、26.1ポイントアップした。

これは、質問項目の表現を「子どもは、いろいろな機会を通じて積極的に地域や社会にかかわりたいと思っている。」から「子どもが積極的に地域や社会にかかわるようになってもらいたいと思う。」に変更した結果である。

保護者の子供に対する期待がうかがえる結果となった。教員についても同じ項目で8.9ポイントアップしている。

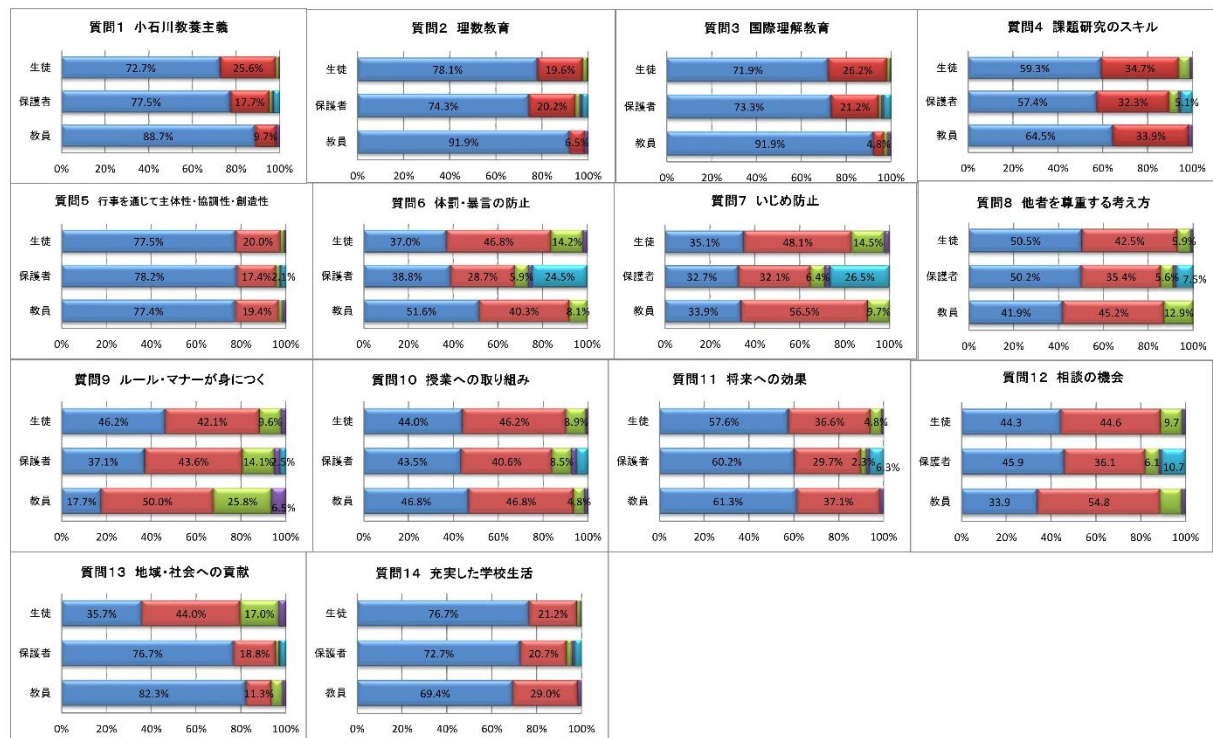
・保護者の肯定的な割合が全体的に下がっているのは、保護者のみ回答項目に「5 わからない」があるため、「5 わからない」を選択した保護者がいる分、全体的に下がっているように見える。

イ 生徒、保護者、教員対象のアンケート集計結果

- ・質問9の「ルール・マナーが身につく」項目では、教員の「あまりそう思わない」の回答の割合が多い。
- ・質問13の「地域・社会への貢献」の項目については、生徒と保護者・教員との間で意識の差が見られる。

生徒、保護者、教員対象のアンケート集計結果(現状)

資料3 R6生徒、保護者、教員の比較



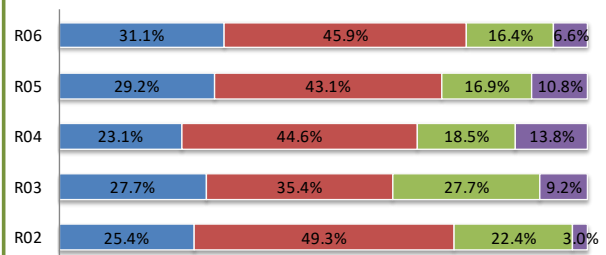
ウ 学校生活と学校以外での生活とのバランス

生徒は、忙しい日々を過ごしているが、生徒自身の意識として学校生活と学校以外での生活とのバランスがとれている項目で、「そう思う」、「ややそう思う」の割合が合わせて84.6%もいて、予想外に多かった。保護者から見た回答もほぼ同様の85.6%なので、多くの本校の生徒は、学校生活とのバランスをとりながらも充実した生活を過ごしているのがわかる。

参考までに、教員のワークライフバランスと比べてみると教員は77.0%となり、やや少ない傾向にある。しかし、この傾向は、経年経過を見てみるとコロナ禍以前に戻っていた。

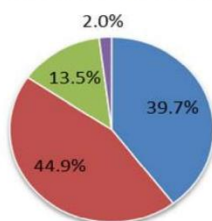
(3) 教員のワークライフバランス

■ 1そう思う ■ 2ややそう思う ■ 3あまりそう思わない ■ 4そう思わない



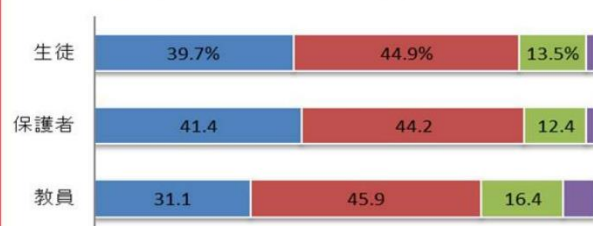
(6) 学校生活とのバランス

■ 1そう思う ■ 2ややそう思う ■ 3あまりそう思わない ■ 4そう思わない



(6) バランスの比較

■ 1そう思う ■ 2ややそう思う ■ 3あまりそう思わない ■ 4そう思わない



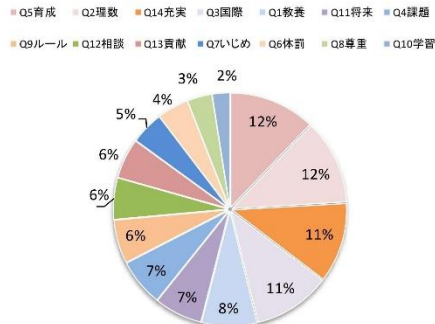
エ 今後本校が力を入れてほしい項目は何ですか。(複数選択可)

今後、本校が力を入れてほしい項目について、複数回答を求めたところ、生徒は、「主体性・協調性・創造性の育成」、「理数教育」、「充実した学校生活」、「国際理解教育」が多かった。保護者は、「国際理解教育」が一番多く、教員は、「ルール・マナーの遵守」が多く、意見が分かれた。

(5)今後本校が力を入れる項目

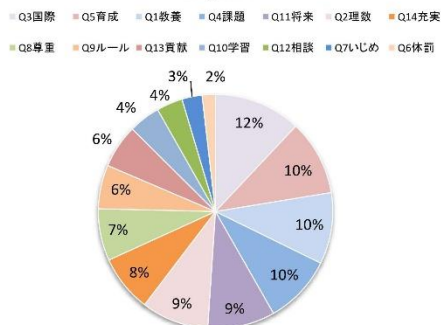
生徒			保護者			教員		
Q5育成	主体性・協調性・創造性の育成	181	Q3国際	国際理解教育	326	Q9ルール	ルール・マナーの遵守	31
Q2理数	理数教育	179	Q5育成	主体性・協調性・創造性の育成	281	Q1教養	小石川教養主義	13
Q14充実	充実した学校生活	168	Q1教養	小石川教養主義	267	Q13貢献	地域・社会への貢献	12
Q3国際	国際理解教育	163	Q4課題	課題研究のスキル	257	Q2理数	理数教育	9
Q1教養	小石川教養主義	116	Q11将来	将来への効果	253	Q8尊重	他者を尊重する考え方	6
Q11将来	将来への効果	101	Q2理数	理数教育	251	Q4課題	課題研究のスキル	5
Q4課題	課題研究のスキル	100	Q14充実	充実した学校生活	212	Q3国際	国際理解教育	4
Q9ルール	ルール・マナーの遵守	92	Q8尊重	他者を尊重する考え方	195	Q5育成	主体性・協調性・創造性の育成	4
Q12相談	相談の機会	87	Q9ルール	ルール・マナーの遵守	164	Q11将来	将来への効果	4
Q13貢献	地域・社会への貢献	84	Q13貢献	地域・社会への貢献	163	Q12相談	相談の機会	3
Q7いじめ	いじめ防止	69	Q10学習	授業・自宅学習の取り組み	117	Q14充実	充実した学校生活	3
Q6体罰	体罰・暴言の防止	66	Q12相談	相談の機会	98	Q10学習	授業・自宅学習の取り組み	2
Q8尊重	他者を尊重する考え方	52	Q7いじめ	いじめ防止	75	Q7いじめ	いじめ防止	1
Q10学習	授業・自宅学習の取り組み	37	Q6体罰	体罰・暴言の防止	50	Q6体罰	体罰・暴言の防止	0

〔生徒〕

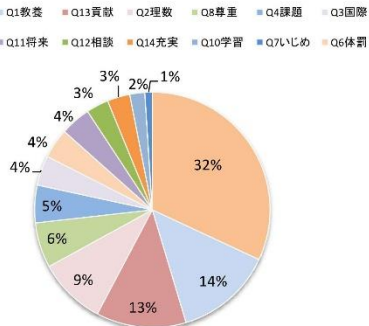


(複数回答可)

〔保護者〕



〔教員〕



オ 地域向けアンケート結果

今年度は、本校で実施した地域の小学生を対象のサイエンス・テクノロジーフェスタに参加した児童、保護者からのアンケートを加えた。概ね本校の教員、生徒の対応は良かったが一部の生徒の対応が「あまりよくなかった」という回答があった。調べてみると職場体験で本人の希望と異なった体験先となったケースで、体験先と本人の希望とのミスマッチが原因となっていた。今後進路部と協力したアンケート結果が活かされるようにしていきたい。

なお、今回地域の町会のアンケートを省いたのは、職場体験先と重なっていたためである。

令和6年度 地域対象のアンケート回収数と集計結果

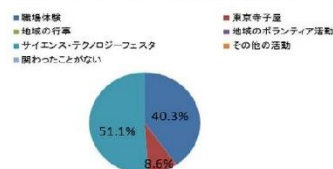
	地域
配布	292
回収	139
回収率	47.6%

対象	回収数
サイエンス・テクノロジーフェスタ	71
職場体験	58
東京寺子屋	10
合計	139

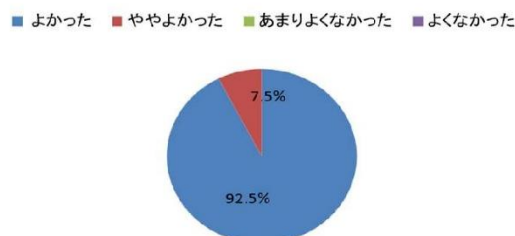
質問1 回答いただいた年代



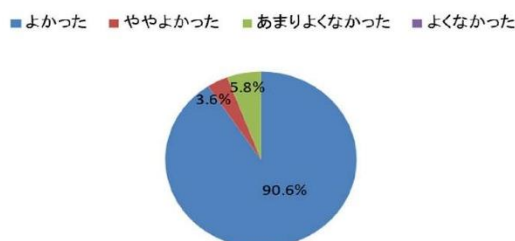
質問2 本校の教育活動に関わったことがありますか



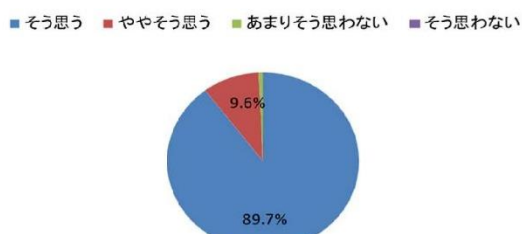
質問3 本校の教員の対応はいかがでしたか



質問4 本校の生徒の対応はいかがでしたか



質問5 地域とかかわる行事や活動を行ってほしい



4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営

学校評価アンケートによれば、本校の教育活動とその成果に対して、生徒、保護者からきわめて高い期待があることがあらためて浮き彫りとなった。こうした生徒、保護者の高い期待に応えるためには、学校の教育活動の三本の柱である小石川教養主義、理数教育、国際理解教育を全教職員でさらに組織的に推進する必要があると考える。そのために組織的な運営体制や、教科指導体制、人材育成、本校独自のプロジェクトチームの編成の見直し、より高く機能を果たして教育活動の改善につながるように取り組んでいく。特に、デジタル技術を活用した教育の推進については、次年度より「EdTECチーム」を再編し中心に効果的な活動を行う体制を整える。また保護者の期待の高い「国際理解教育」については、核となる海外語学研修、海外研修旅行の実施に加え、アデレードやシンガポールの交流校からの学校訪問をはじめとした学校間交流を積極的に受け入れ、国際交流が進展するように取り組んでいく。

(2) 進路指導

生徒の進路希望実現のために、生徒の主体的な選択を最大限に支援する指導体制を推進していく。学校評価アンケートの回答1の結果から、本校の教育は進路選択およびその実現について、生徒、保護者ともにおおむね満足しているものと判断している。さらに、各学年で生徒の発達段階に応じたキャリア教育を確実に実践し、きめ細かい二者面談、三者面談を実施している。今後もこのようにていねいな指導を継続し、高いレベルで生徒が進路実現していく取り組みを継続する。

(3) 学習指導

「授業第一主義」を掲げ、生徒、保護者の期待に応えることのできる高度な知識、技能や、必要な思考力、判断力、表現力、及び主体的に学習に取り組む態度を育成する。そのためには、すべての教科・科目で基礎・基本の徹底を図り、学力の向上を図る学習指導を行っていく必要があると考える。本校が中高一貫教育校、SSH指定校、GE-NET20指定校であることのアドバンテージを最大限に生かしながら、本校にしかない教科、科目を生かし、教科横断的、学年縦断的な授業を取り入れるなど、本校独自の授業の取り組みを進めていく。

(4) 生活指導

学校評価アンケートの回答1では「ルール・マナー」に対しての肯定的な意見が生徒、保護者、教員ともに低く、特に教員のアンケート結果では最低値の項目となっている。本校生徒にはコミュニケーションを苦手とする生徒がおり、ソーシャルスキルを身に付ける教育活動を工夫していくことに高い必要があると考えている。本校は生徒の自律によって基本的な生活のルールや学習環境の向上を目指してきたが、特にコミュニケーションやマナーの面において、より積極的に教員から働きかけていく必要がある。その際、生徒の心の成長によりダイバシティの重要性、相手の立場に立った人権や尊厳の尊重、プライバシーや個人情報の保護、相手に対しての思いやりなどに配慮できるように指導していく。また、生徒からの相談体制の充実についても、保健室、学年担任団、生活指導部やSCとで連携し、生徒の悩みに寄り添いながら進めていく。

(5) 地域連携

今年度より質問13を「積極的に地域や社会にかかわりたいと思う（かかわって欲しいと思う）」に変更した。この回答から、保護者から積極的に地域に関わって欲しいという期待があることが分かった。現在学校が行っている地域との連携には、生徒会や委員会による地域行事への参加、防災教育推進による地域との連携、SSH事業による近隣小学校に対しての理科教室の実施や、小学生に来校してもらっての理数系部活動への参加などがある。現在実施している地域との連携についてより深くより強固にしていくために、活動を継続するとともに、学校運営連絡協議会や防災教育推移新委員会などで地域の声を聴きながら、ニーズに応える体制を構築していく。

6 「学校がよかった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 9人
- (2) 学校がよかったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
6人	3人	0人	0人	0人	0人	0人

.